



SANJO ROTARY CLUB

三条ロータリークラブ

週報 No. 2

2008.7.9 (No.2509)

第2560地区ガバナー／馬場信彦
 会長／中村和彦
 会長エレクト／菊池 渉(クラブ奉仕A)
 副会長／樺山 仁(クラブ奉仕B)
 幹事／石月良典
 S A A／明田川賢一
 会計／杉山幸英

例会日／毎週水曜日12:30～
 例会場及び事務局／
 三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内
 例会場／TEL 34-3311
 事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail: sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
 http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
 (〃はshiftを押しながら“へ”のキーを
 押ししてください)

■本日の出席会員数:60名中46名
 ■先々週出席率:88.52%

【先週のメイクアップ】

- [7.3] 越後春日山へ
・加藤紋次郎さん
- [7.3] 三条ローターアクトへ
・中村和彦さん、石月良典さん
・伊藤寛一さん、成田秀雄さん
- [7.7] 三条南RCへ
・萩根澤隆雄さん
- [7.8] 三条北RCへ
・加藤紋次郎さん、斎藤弘文さん
・小越憲泰さん、西川文夫さん
・渡邊喜彦さん



「夢をかたちに」

2008～2009年度国際ロータリーのテーマ



ノーゼンカツラ

会長挨拶

中村和彦 会長



これで水害は起きないのか

これから七月下旬の梅雨明けまでと、八月十日前後は、集中豪雨の心配が続く。

新潟県内で最も洪水の可能性が高い暴れ川、五十嵐川は、嵐北地域の一部が越水による被害、そして嵐南地域が破堤によって水没した悪夢の7・13水害後、再び水害が

発生しないように現状復帰の改修工事が終盤を迎えている。

市民の多くは、この工事で、再び7・13水害のような悲惨な水害に見舞われることはないだろうと期待している。しかし、河川管理する側からみれば、起こりにくくなっても、これで万全ということにはならない。

第一に、近年の異常気象で集中豪雨の機会が多くなっているし、一回の降雨量も多い。

それと、里山が荒れて土砂崩れなどが起きやすく、市街地の道路の舗装の進展と宅地化で、出水が早い。もちろん、河川改修の進捗によって、逆に中小河川から信濃川など大きな河川への雨水の流入が早まり、信濃川と五十嵐川の合流点など流れがどう変わるか分かりにくい。

五十嵐川の場合は、もともと下田地区の丘陵地帯から道心坂を経て一気に扇状の地から沖積地にかけて流れ下る。その扇状地から沖積地にかけて三条市街地が発展してきた歴史もあって、一度大雨となれば、堤防のいずれかの箇所ですり抜けて越水、あるいは堤防の下からの漏水、そして最悪の場合は、破堤という水害がたびたび発生している。

水害対策も含めて、発電、農作業用水確保など多目的ダムとして、昭和36年に完成した笠堀ダム、それでも危険という

ことで、飲料水確保も含めて大谷ダムが完成した。

しかし、この二つのダムでも水害は防げなかった。むしろ大雨の際の二つのダムの貯水量コントロールの難しさが7・13水害でクローズアップされている。

また、笠堀ダムにかかわらず、多目的ダムの是非が、昨今、全国的に課題となっている。電力発電などのため、渇水期前にある程度の水を貯蔵しておく必要性があって、梅雨や台風シーズンなど大雨が降りやすい季節でもダムの水を干し揚げるわけにいかない。

さらに五十嵐川の場合は、五十嵐川の上流に二つのダムが造られたが、いま一本の大きな流れである守門川側にはダムがない。

地質の関係でダムを建設できないのだと聞かされてきた。

近年、ダムが水害防止に役立たない、むしろ、ダムが危険になったときに一気に放流するため、下流部の降雨の状況によっては、危険度が増すとまで言われている。その意味では、守門川にダムがないのが決定的なマイナス要因とは言えないが、ただ、五十嵐川上流部の降雨と、守門川の上流部の降雨の時間と雨量は必ずしも同じではない。その時の雲の流れ次第で、どうなるか分からない。

特に集中豪雨は、その差が大きい。となると、五十嵐川の現状復帰のこのたびの河川改修では、これで万全とはならない。

田中角栄元総理が描いた五十嵐川大改修計画は、三条市の一ノ木戸から本町五丁目まで、商店街がなくなるほどの拡幅だが、それを完成させなければ、今後の雨量の増大と市街地の都市化を考えた時、「三条市街地は水害に強い」とは言い切れない。

嵐南側の諏訪、曲淵地域の堤防が弱いことは、明治以後氾濫の状況からも分かるが、嵐北側も三竹、田島、一ノ木戸と、いつも破堤こそしないが、越水、堤防の決壊が見られ安全とはいえない。

さて、今回の堤防の嵩上げによる流下水量の増大がすべてを解決することになるのか。

何十年に一度の集中豪雨では水害もやむを得ないのか。

ニコニコBOX

中村和彦さん

新会員の平沼さん、卓話楽しみにしています。今後とも、よろしくお願いします。

石月良典さん

平沼さん、はじめての卓話ありがとうございます。

藤田紘一さん

平沼会員、卓話ご苦勞様です。

新年度、皆様よろしくお願い致します。

中村会長、一年間ご苦勞様です。

斎藤弘文さん

7日の夜、県央さんしん会の総会を、200人を越える参加をみて盛会に開催する事ができました。

五十嵐晋三さん

中村さん、石月さん一年間ご苦勞様です。

高森章二さん

坐忘亭^{ざぼう}附近の草刈をしてきました。

平沼潤一さん

2回目の例会にて、本日卓話をさせていただく事になりました。雑駁^{ざつぱく}なお話しかできないかと存じますがお許しください。今後ともよろしく願い申し上げます。

平原信行さん

荻根澤会長、杉山幹事ご苦勞様でした。

平沼会員の入会を歓迎して。卓話よろしく願い致します。

捧 賢一さん、 明田川賢一さん、杉山幸英さん、

金子俊郎さん、 船越正夫さん、 会田二郎さん、

五十嵐昭一さん、丸山行彦さん、 渡辺勝利さん、

石塚欣司さん、 若槻八十彦さん、小越憲泰さん、

松永一義さん

平沼会員、卓話ご苦勞様です。

楽しみにしております。

樺山 仁さん

BOXに協力して。

五十嵐浩さん

都合により早退します。

幹事報告

石月良典 幹事

◎本日2008～2009年度前期会費の請求書をお配り致しましたので、よろしく願い致します。

※7月31日(木)までにお納めいただきたくお願い致します。

7月9日分 ￥24,000

今年度累計 ￥107,000

卓 話

卓 話



平沼潤一 会員

先週より伝統ある三条ロータリークラブに入会させていただきました『平沼 潤一』と申します。例会の貴重なお時間を頂戴し、卓話をさせていただきます。

まずは自己紹介をさせていただきます。生まれは埼玉県岩槻市（現さいたま市岩槻区）で1962年（昭和37年）11月22日生まれの45歳、寅年蠍座です。家族構成は妻 淳子（42歳）長男 駿 大学1年生の3人家族です。他に愛犬ココア（シェパードシープドッグ 4歳）。

こちらに単身赴任しておりますので家族は埼玉の大宮で暮らしております。趣味はサッカーで、プレーすること、観戦すること、指導することと、どれも楽しんでおります。サッカープレー歴は中学1年生より大学の体育会サッカー部で引退するまでの10年間と、入社して8年後に当時赴任しておりましたKNT水戸支店で社会人チーム『近鉄FC』を1993年、Jリーグ発足の年に結成し茨城県社会人リーグ4部に登録しプレーを再開いたしました。立教大学サッカー部時代には当時の西ドイツへ合宿遠征に参加しましたが、この時が初めての海外渡航でありました。『近鉄FC』も4年後には選手の高齢化に伴い、活動休止、休部、解散となり現役プレーヤーを一時休止いたしました。現在はJFAのD級コーチの資格を取得し、さいたま市のサッカースポーツ少年団にてヘッドコーチとして少年サッカーの指導者として活動しております。

今回の転勤で3回目になりますが、大学卒業後初任地は茨城県の水戸で、こちらには18年3ヶ月ほど勤務し、その後山梨県の甲府に5年間、そしてこの7月1日付けを以って燕三条支店に異動となりました。結婚19周年を迎えましたがその内13年間は単身赴任生活を余儀なくしております。長男が小学校に入学してから現在に至るまで一緒に暮らしたことがありません。転勤の時期と単身赴任の年数が計算で合わないかと思いますが、実は14年前に栃木県の小山に転勤の話があり、当時私の両親と同居していた弟が結婚し家を出る事になり、水戸から大宮に引越し両親の面倒が看やすいようにと転居をしたところ、転勤は延期、その後無しという状況になってしまい、新築の家には妻と子供が、水戸には私一人がアパート暮らしとなったのが始まりでした。

教訓 内示・辞令を見るまで動くべからず……

仕事の事について略歴をお話申し上げますと、新入社員当時は1985年に水戸支店に配属され、慣れない一人暮らしをしながら個人旅行の部門を担当しておりました。入社当時はつくばの科学万博が茨城県で開催されており、来る日も来る日も万博の入場券の発行に追われる日々でした。その他当時はJR（当時は国鉄でしたが）の定期券の発行や数々の切符の販売事務をしておりました。性格上内勤は性にあわず事務作業が苦痛でしたが、これも勉強のためと割り切り仕事を続けました。入社4年後に結婚しその頃から団体営業に配属となり教育旅行部門のセールスを担当するようになりました。主な仕事は修学旅行の契約、教職員旅行の取扱、各種大会会議の取扱といったものでした。一口に大会・会議と申しましても様々なイベントが混在いたします。小学校中学校の校長先生・教頭先生の研究大会が全国ならびにブロック（関東甲信越地区）ごとに毎年開催され、PTA関連も同様全国ならびに関東甲信越地区大会。また各教科ごとの大会など、教職員が対象となる会議・大会がそれぞれ、発地型を着地型の2種類あり、また生徒対象のスポーツ系イベントや文化系イベントの発地型と着地型といった様々なイベントコンベンションを取り扱ってきました。イベントの中でも高校野球の甲子園取り扱いはやはり、やりがいもあり、苦勞も非常に多いですが達成感はまたひとしおです。

転勤して思うことは、地理に不案内、人間関係が0からの出発（顧客も社内も）、日常生活に慣れること、旅行のお話がでもその地域の方々は国内であればどこが行き先として多いのか、旅行の形態はどのようなものを好むのかなど分からないことばかりです。より多くの方々と接し勉強を重ねていくしか王道は無いと感じます。37年間積み上げてきた前任者に代わり、着任することはプレッシャーが多いものではありませんが、前任の橋もこの三条を離れるわけではないので、守備範囲が広がったとの事であるので継続して二人三脚で業務遂行をしていくイメージです。

目標は三条に来て修学旅行の契約を早く獲得したい。

次にロータリーの活動についてですが、この6月までは甲府南ロータリークラブに所属しておりました。委員会は親睦、会報が多かったです。RI国際大会には2004年大阪大会、2005年のシカゴ大会と参加させていただきました。甲府南RCでの奉仕活動は主に甲府市内にある舞鶴城の春秋に行われる花の植

え替え行事、児童保護施設に入居する児童生徒を連れて、会員の農場での田植えや稲刈り体験行事、市内中学生の職場体験受入などといったものがありました。

先日甲府南RCのロータリアンとお別れ会をしましたが、三条RCの例会の運営方を教えて下さいとの託がありましたので、報告をしていきたいと思えます。勤務地が変わってもRCは変わらないので、先週例会に参加した際にややホッとしました。RCのメンバーでよかったと感じたことが昨年ありました。

ちょうど1年前の8月上旬に、自分が修学旅行の下見添乗で沖縄に行っている時に、母親から連絡があり、父が検査入院をするとの事でした。父は20年前に心臓の大手術をし一命を取りとめました。今回は胃癌の可能性があるのではないかと、2週間くらいかかりましたが、結果は胃癌でした。外科医はすぐにでも手術を施したいが心臓内科医は、血液をさらさらにする投薬をやめて体質を変えてからではないと危険性が高いとのことで、なかなか手術日が決まらず、さらに2週間ほど時間が経過しました。私としては、毎週のように東京女子医大に父親の見舞いと看護疲れの母を見舞い、一刻も早くこの状況を打開したいと願う日々が続きましたが、自分の精神状態は不安定、仕事も手につかず、ただ神に祈る思いで過ごしていましたが、クラブの先輩で自分を息子のように扱って頂いた、ちょうど父親の1級先輩の方に勇気付けられ、例会に参加することで自分に勇気を与えていただき、前向きに考えて生きていこうと救ってくれたのがロータリアンでした。幸い父の胃の全摘出手術は成功し、体力はかなり衰えてしまいましたが再び命を拾い、今は何とか生活しております。この時は、会社行くのも憂鬱で、食事もしたくない状況でしたがRCが父も私も救ってくれた思っております。今後の人生の中で次は自分が恩返しをしなくてはと思う私です。

次週例会 7月23日 「納涼例会」PM6:30~
於 VIP

次々週例会 7月30日 外部卓話 コンチネンタル航空 新潟支店
支店長 坂井加奈子 様

